



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.59
六甲山に住もう！外国人
の体験談/武頼庵S. 寧尊
2008年2月発行



六甲山上の武頼庵さんの自宅

第59回テーマ： 六甲山に住もう！ 外国人の体験談

講演内容

- なぜ六甲山に住もうとしたか？
- どうやって六甲山に住まいを見つけたか？
- 六甲山住まい、地獄と天国

実施日：平成20年2月16日（土）
午後1時～3時
場 所：六甲山YMCA里見ホール



講師：^{ぶらいあん}武頼庵^{ねいそん}S.寧尊さん
プロフィール
1968年米国コロラド州出身。5歳から折紙に興味を持ち、1986年に交換留学生として初来日。コロラド大学卒業後、関西在住。1996年(有)ガイジンズ設立。六甲山町民になって4年目。

積雪の中で、景観整備の調査

今年は例年には珍しい大雪の六甲山。午前中の整備活動は積雪のため、先月までに設定した植生調査の区画の標識を見つけるのに苦労しました。



階段が雪で埋まっていました

参加した10人で、対象地域を歩きながら、今後の調査の構想を練りました。

ファミリー揃っての講演

武頼庵さんは市民セミナー初の外国人の講師です。約20年前に折り紙がきっかけで日本に来られた武頼庵さんは、六甲山に住んで4年目です。セミナーでは、六甲山での暮らしの地獄と天国をご紹介いただきました。



奥さんの佳世さんと伊作君

奥さん、息子さんとご家族揃って出席されました。山上の温かな家庭生活が想像できる、終始和やかなセミナーになりました。六甲山暮らしを考えている参加者も多く、質疑応答もとても活発でした。

六甲山住まいはDIY生活

ある日目にした新聞記事から始まった六甲山暮らし。引越し当初はカビだらけ、ゴミだらけの家を片付けるだけでも1ヶ月かかったそうです。梅雨の時期は湿気に、冬は隙間風に悩まされ、台風でテラス

が飛ばされてしまったそうです。

フローリングを張ったり、暖炉の薪割りをしたりというDIY生活を楽しんだり、都会では味わえない六甲山の自然や親しい仲間との暮らしを楽しまれています。「世界で住むなら六甲山」と、流暢な日本語でお話されました。

六甲山上の生活実感に触れた

実際の生活を基にした実感のあるお話で、六甲山での暮らしの辛さや楽しさがよく伝わってきました。外国人である武頼庵さんのお話は、六甲山に対する先入観が少なく、新鮮な視点で六甲山を見直せました。

武頼庵の出身地のボルダーはロハス発祥の地としても知られます。そんな武頼庵さんから「世界の中で住むなら六甲山」と太鼓判を押していただいたのは、それだけで六甲山の魅力再発見になりました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

参加の感想 櫻井 利彦さん

ブライアン家のブログにて貴会セミナーを知り、積雪を恐れながらもノーマルタイヤで登山、出席をさせていただきました。

六甲山に住む事を考える人々にとってご一家の手探りで始められた山暮らしで味わう天国と地獄についてのお話は大変興味深く、参考になることが大いにあると思います。数多くの問題が有っても魅力が勝る山暮らしに私自身、改めて思いを強くさせて頂いたセミナーとなりました。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】
コベルコ環境保全基金、セブン・イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金
しみん基金・こうべ